

あきる野市教育委員会 1 月定例会会議録

- 1 開催日 令和 7 年 1 月 2 1 日（火）
- 2 開催時刻 午後 2 時 0 0 分
- 3 終了時刻 午後 2 時 2 2 分
- 4 場所 あきる野市役所 5 階 5 0 5 会議室
- 5 日程 日程第 1 教育長及び教育委員報告
- 6 出席委員
教 育 長 丹 治 充
教育長職務代理者 小 西 フミ子
委 員 坂 谷 充 孝
委 員 岡 部 秀 敏
委 員 田 島 弘 之
- 7 欠席委員 なし
- 8 事務局出席者
教 育 部 長 鈴 木 将 裕
指 導 担 当 部 長 三 品 孝 之
生涯学習担当部長 遠 藤 文 寛
教 育 総 務 課 長 木 村 紋 子
教育施設担当課長 岩 崎 徹
学校給食センター建設準備担当課長 和 田 達 也
学 校 給 食 課 長 田 倉 崇 史
指 導 担 当 課 長 佐 藤 宗 一 郎
生涯学習推進課長 石 川 尚 昭
図 書 館 長 山 根 悟
スポーツ推進課長 一 瀬 秀 和
指 導 主 事 宇佐美 拓 郎
- 9 事務局欠席者 指 導 主 事 近 藤 壮 一 郎

開会宣言 午後 2 時 0 0 分

教育長（丹治 充君）

皆さん、こんにちは。大分気温が下がって、インフルエンザがここのところまた増えてまいりました。A型からB型に移っているということですから、十分に健康にはご留意いただきたいと思います。

それでは、ただ今からあきる野市教育委員会 1 月定例会を開催いたします。

本日は教育委員全員が出席しており、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 14 条第 3 項に規定する定足数に達しておりますので、会議は成立しております。

事務局では、指導主事会議出席のため近藤指導主事が欠席しております。

それでは、議事日程に従って会議を進めたいと思います。

まず、議事録署名委員については、岡部委員と田島委員を指名します。

それでは、議事に入りたいと思います。

本日は、教育長及び教育委員報告の 1 点でございます。

教育長及び教育委員報告は、最初に私から報告をさせていただきます。

今月は、お正月ということで、各種団体の賀詞交歓会が開催されました。あきる野市青年会議所及び町内会・自治会連合会新年会、商工会議所賀詞交歓会があり、平素から学校教育にご支援をいただいております各種団体の皆様に新年のご挨拶をさせていただきました。

1 月 17 日には、西多摩中学校教育研究会主催による西多摩中学校美術展覧会が、日の出イオンモールで開催されました。各地区中学生の作品を拝見してまいりましたけれども、やはり他地区の中学校美術科指導の特色がよく現れた作品の展示となっております。本市からは、中学校から選抜された展示作品でしたので、どれも一生懸命に取り組まれている様子が見て取れるような作品群でありました。

次は、1 月 9 日に校長会、16 日に副校長会が開催されました。年頭の挨拶の中では、学校運営委員会の課題と成果のまとめをお願いいたしました。また、教育委員会の年度最後の主催行事の中で、小学生ドッジボール大会とあきる野市音楽の祭典への参加をお願いしましたので、教育委員の先生方にはよく見ていただき、後日指導をいただければと思います。

なお、教育委員会行事につきましては、各小中学校の特色がよく見られる学校の取組となっておりますので、昨年度から今年度の 4 月にかけて、参加努力をいただきたい旨のお話をしてまいりました。また、生涯学習推進課や指導室からも参加依頼と指導を行ってきましたが、どれぐらい理解をいただいているのかが、この後の参加状況を見ていただくとよいかと思います。参加の努力をされている学校とその後が見えない学校の差がはっきりと伺えるかと思います。

そして、最後にうれしいニュースとして、1 月 17 日に文部科学大臣優秀教職員表彰があり、東秋留小学校の先生方が文科省から表彰をされました。内容は、「東秋留のふるさと学」を掲げ、学校と地域が協力し、秋川歌舞伎あるいは野辺囃子連など、地域の伝統文化を継承する学習が、子どもたちに郷土愛を育成したというようなことでの指導者に対する

表彰でありました。

それから、東京都教育委員会生徒表彰ということで、今度は生徒が表彰を受けることになりました。五日市中学校の伝統芸能部が表彰をされるということで、こんな情報が入ってきております。この後、あきる野市音楽の祭典の参加校が分かりましたら、話をしてもらえかと思います。生涯学習推進課長。

生涯学習推進課長（石川尚昭君）

音楽の祭典につきましては、市内の小中学校の参加校ということで報告させていただきますと、中学校は全6校、小学校は、参加をしない学校としまして、屋城小学校、南秋留小学校、一の谷小学校、五日市小学校の4校になります。そのほかの6校は参加ということで伺っております。

以上でございます。

教育長（丹治 充君）

これは、理由は何かあるのでしょうか。

生涯学習推進課長。

生涯学習推進課長（石川尚昭君）

理由は、学校によってそれぞれではあります。今、手元に資料がないんですけれども、基本的には行事との重複といったところが一番の理由だったと思います。

以上でございます。

教育長（丹治 充君）

この件については、4月当初に各学校にお願いした経緯もありますので、指導室、三品部長のほうでは、どういう指導をされてきたのか、その辺をお話願います。

三品部長。

指導担当部長（三品孝之君）

教育課程編成の際に、各学校については、それぞれ日程調整等をするよう、指導してきました。学校によっては、あえて学校公開を当てて、参加がしやすいようにする学校もあれば、なかなか協力が得られなかった学校もありますので、今現在、令和7年度の教育課程に向けて、ちょうど指導、助言をしている段階でございますので、来年度にはその辺りが反映できるように、再度、また指導してまいりたいと考えております。

以上でございます。

教育長（丹治 充君）

この行事については、従来は「小中学校の音楽会」という名称であったものが、コロナ禍の関係で音楽の祭典という取扱いになったと思います。元々は、主体が小中学校のはずなので、担当課等については指導室を含めて今後指導をしていただければと思います。

私からは、以上で報告を終わります。

そのほかの教育委員の先生方から報告がありましたら、お願いいたします。

教育長職務代理者。

教育職務代理者（小西フミ子君）

1月16日に東京都教育委員会連合会の理事会に出席しました。そこで、今年（令和7年）4月に多摩地域初のチャレンジスクール、【立川緑高校】という不登校に特化している

高校が多摩教育事務所の跡地にできて、開校するというお話がありました。募集は180名、午前、午後、夜間の3部制、30名の2クラスずつ、合計で180名を募集しているそうですが、とても人気があるようで2.2倍という倍率があるそうです。そこは、食事でもできるし、どの時間に行っても構わない。不登校の子が必ず居場所ができるような雰囲気をつくるということで力を入れてつくってあるとのことでした。体育館もあるし、中庭もあるし、レストランというか軽く軽食をとれるところがあるといった説明を受けました。不登校の子たちが本市に本当に多くなっているのも、多摩地区の開校が初めてで、ほかは中野区、北区、足立区、江東区、港区、世田谷区の6校だけだったんですが、立川にできるのはとっても喜ばしいことということで、不安なく登校してほしいと感じました。それが1点。

それから、個人的に転校を経験する子どもたちの心ってどうなのかなと気になっていました。たまたまスポーツ協会会長の吉田榮久夫さんのお嬢さんが利根川芙美さんという方で、転校に関する本を出版されたそうなんです。そのことを吉田さんから教えていただきまして、読んでみたら、子どもの気持ちや親の心構えなど、不安を払拭するような本で、頂いてすぐに、夕方から夜までに読み終わるぐらいの読みやすい本でした。そういう本がありましたので、転校で不安に思っている方向けにいいなという気がしまして、一応ここので言わせていただきました。

それから、もう一点いいですか。

教育長（丹治 充君）

どうぞ。

教育長職務代理人（小西フミ子君）

3点目ですが、公開授業が今回多くて、毎年、授業も興味深いです。一の谷小学校では「にんば」やおやはしなど、とてもすばらしくて、よくあれだけ覚えられたなということと、伝承されている地域の貴重な方たちの教えがとてもすばらしくて、息びったりで、止まるところもびたっと止まる。もう気持ちがよかったです。そういったことを続けてくださる方がいらっしゃるということはすごくうれしいですし、子どもたちにも続いてほしいなという気持ちがありました。そして、その後に増戸中学校に行きまして、今度は元中日ドラゴンズの荒木雅博さんという方の講演会がありました。この荒木さんの野球人生の中で失敗を繰り返すなどといった、お話がとてもよかったです。感激してしまいましたけれども、最後は体育館の端から端までのキャッチボールを目の前で見せていただいて、そのボールを受けた子どもたちは、もしかしたらオリンピックとか、将来的にも、何かそういうことに結びつく日なのかもしれない感動があったのではないかという気がしました。とってもいいお話で、『失敗をなささい、たくさんしなさい、2,000本安打をできたのは5,000本以上は失敗しているんだよ。でも、嫌いなものから一生懸命こつこつと練習すればいいんだよ』ということで、本当に私にもとっても響いてくるような言葉がありました。

以上です。ありがとうございました。

教育長（丹治 充君）

ありがとうございました。

ほかの教育委員の先生方、いかがですか。

岡部委員。

委員（岡部秀敏君）

私は学校訪問をさせていただく日に、よく各教室に図書がどのくらいあるかなとか、学級文庫があるかなというのを、見させていただいています。ちょっとこの場で申し訳ないんですが、図書館長に今年のお正月のお年玉の行事があったかと思いますが、どんな状況だったか教えていただければありがたいです。

教育長（丹治 充君）

図書館長。

図書館長（山根 悟君）

市内で、これは子ども向けではなかったんですが、今回一般向けということで、各館で用意をしました。好評なところは、もう既になくなってしまったところもありますし、残っているところも一部あるようでございます。今週いっぱいぐらいで一区切りをというようなところでございます。やはり、何が入っているか分からない本の一部の1文を見て選んでいただくというようなところで、わくわくして借りていただくといいというようなところがございます。

以上でございます。

委員（岡部秀敏君）

ありがとうございます。また、今後ともよろしく願いいたします。

以上です。

教育長（丹治 充君）

ほかには、よろしいですか。

委員（岡部秀敏君）

はい。

教育長（丹治 充君）

ほかにありませんか。

田島委員。

委員（田島弘之君）

大きく分けて2つから3つになるかと思います。11日に若き音楽家フェスタを鑑賞させていただきました。やはり、プロの演奏を聴くということはすばらしい体験になると思ったことが1点。もう1点は、観客の方、見てみると年配の方がすごく多くて、もうちょっと若い年代を何とかうまく取り込めないかなと思ったところがあります。

それから、その若き音楽家フェスタに出ていらっしゃった文屋さんというソプラノの方が、19日のキララ合唱団の演奏会のほうでも出られるということで、そちらにも行ってみました。やはり結構年配の方が多かったです。本当にこういうプロの方とか、キララ合唱団の演奏会は、地域の方とか、もう少し若い年代、小中学生とか、そういう方も周知して取り込めたらいいかなと思うことがありました。これが2点目です。

それから、先ほど小西教育長職務代理者からもありましたけれども、一の谷の伝統文化、本当にすばらしくて、もう伝統的に150年とか、もっと前から続いているような伝統文化に

ついて、それを今の子たちがあれだけ見事に継承できているというのに感動しました。それと、もう一つは、その場で一の谷の元校長先生がいらして、これがまた地域の方と本当にもう見えて気持ちがよくなるほど、再会を喜んで肩を抱き合うくらいつながりを持っているのです。ですから、この伝統文化も地域の力が大きく、学校の子どもたちが主役ではあるんですが、やはりそのときの管理職や職員が地域とつながって、強いつながりを持っていけたら、やはりすばらしいものは続いていくのだろうなと改めて感じました。

あとは、今のことに関連するのですが、昨年も周年行事に幾つか出席いたしましたけれども、やはり地域とのつながりを強く感じるところが多かったので、各学校が、もう学校教育とはいっていても、学校だけで教育は完結しないので、もう地域と本当に一体になって子どもたちを育てていけたらいいなと。「あきる野の香り」というような言葉もありますので、あきる野の香りを持った子どもたちを育てるためにはどうしたらいいのかを、また考えていけたらと思います。

以上です。

教育長（丹治 充君）

そのほかございますか。

《なし》

教育長（丹治 充君）

ないようですので、ただ今の報告等について何かご質問等ありましたらお願いいたします。よろしいですか。

《なし》

教育長（丹治 充君）

質問等がないようですので、教育長及び教育委員報告について終了いたします。

最後に、事務局から今後の日程等についてのご案内をお願いいたします。

教育総務課長。

教育総務課長（木村紋子君）

それでは、今後の日程等についてご案内をさせていただきます。

初めに、1月22日水曜日、東京都市教育長会定例会及び東京都教育委員会との連絡会が立川市のホテル日航立川東京にて開催されます。

1月24日金曜日、西中学校の学校訪問、1月27日月曜日、増戸中学校の学校訪問を予定しております。

1月30日木曜日、西多摩地域広域行政圏協議会教育長会が青梅市で開催されます。

2月4日月曜日、御堂中学校の学校訪問を予定しております。

2月7日金曜日、南秋留小学校創立50周年記念式典が開催されますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

2月10日月曜日、教育委員会第1回臨時会を午前10時から、ここ505会議室で開催いたします。

2月12日水曜日、東京都市教育長会定例会が東京自治会館にて開催されます。

最後に、次回2月の定例会でございますが、2月17日月曜日、午後2時から、ここ505会議室で開催を予定しております。

私からの案内は、以上となります。

教育長（丹治 充君）

日程等についてのご案内をしていただきました。

そのほか、なければ終わりますが、よろしいですか。

《異議なし》

教育長（丹治 充君）

それでは、以上をもちましてあきる野市教育委員会 1 月定例会を終了いたします。

閉会宣言 午後 2 時 2 2 分